

1 基本項目	事務事業名	土木一般管理事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	土木一般管理事業				係名	業務係		
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-23-1028		
	事業期間	開始年度	昭和27年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				款	土木費	
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保				項	土木管理費	
施策名		16 快適な道路機能の強化					目	土木総務費	
	基本事業名	16-1 幹線道路の整備			市民協働の状況	協働になじまない			

2 事業概要	事業概要	富山朝日自転車道線駐輪場施設（トイレ、広場等）を適切に維持管理する。（富山県からの委託） 角川ダム公衆衛生施設（公衆便所）を適切に管理する。 職員が研修を受けたり、各種団体からの情報を得ることにより、事務を適切に執行する。	
	対象	富山朝日自転車道線駐輪場、角川ダム公衆衛生施設、建設課職員	
	手段（活動指標）	①富山朝日自転車道線駐輪場及び角川ダム公衆便所の清掃業務、②市町村道事業研修への職員の派遣、③各種協議会等負担金等の支払い、臨時職員の賃金等の支払い	
	意図（成果指標）	①富山朝日自転車道線駐輪場及び角川ダム公衆便所の利用者が快適に利用できる状態とする。②各種協議会からの情報提供や情報交換により事務の執行が適切にできる状態とする。③職員研修により事務に関する知識が増え、効率よく事務が執行できる状態にする。	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
成果指標	① 富山朝日自転車道線駐輪場の対象施設件数	件	1	1	1	1	100.0%	1
	② 角川ダム公衆衛生施設の敷地面積	m ²	134	134	134	134	100.0%	134
	③ 建設課職員	人	19	19	20	20	100.0%	20
	① 富山朝日自転車道線駐輪場の清掃回数	回	102	102	102	102	100.0%	102
	② 角川ダム公衆便所の清掃回数	回	48	48	48	48	100.0%	48
	③ 研修に参加した職員数	人	10	10	10	10	100.0%	10

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度	
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
支出内訳	①需用費	円	1,020,000	1,023,861	1,835,860	1,800,800	75.9%	1,830,000	
	②委託料	円	622,000	622,000	622,000	622,000	0.0%	638,000	
	③工事請負費	円						0	
	④負担金補助及び交付金	円	831,000	715,199	2,108,140	1,174,819	64.3%	800,000	
	⑤その他	円	1,953,000	1,753,442	1,300,000	1,773,040	1.1%	2,064,000	
	支出合計（A）	円	4,426,000	4,114,502	5,866,000	5,370,659	30.5%	5,332,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						0
		②県支出金	円	529,000	537,600	537,000	537,600	0.0%	552,000
		③地方債	円						0
		④その他（使用料、雑入等）	円	5,000	4,926	5,000	5,043	2.4%	5,000
⑤一般財源		円	3,892,000	3,571,976	5,324,000	4,828,059	35.2%	4,775,000	
収入合計	円	4,426,000	4,114,502	5,866,000	5,370,702	30.5%	5,332,000		
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2	
	②年間所要時間	時間	700	700	700	700	0.0%	700	
	③人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	2,940,000	2,940,000	2,940,000	2,940,000	0.0%	2,940,000	
総費用（A+B）	円	7,366,000	7,054,502	8,806,000	8,310,659	17.8%	8,272,000		

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○富山朝日自転車道線駐輪場及び角川ダム公衆便所の清掃業務	
	○市町村道事業研修への職員の派遣	
	○各種協議会等負担金等の支払い、臨時職員の賃金等の支払い	
	○片貝清流橋開通に伴う開通式開催事業費負担金の支出	
	○富山県から払い下げのユニック車を使用するため、職員が玉掛け技能講習・小型クレーン技能講習を受講し免許を取得	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
有効性	有効性		B	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
効率性	効率性		B	負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				1次評価（課長総括）	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価
	後（課題及び方針）	評価結果		いずれの施設も多くの利用者があることから、実施方法を工夫して快適な環境維持に努めることが必要である。			評価結果

1 基本項目	事務事業名	道路関係同盟会事務局事務			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	なし				係名	業務係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1028		
	事業期間	開始年度	平成5年度	終了年度	当面継続	会計	予算なし	
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち					算科目
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					
施策名		16 快適な道路機能の強化						
	基本事業名	16-1 幹線道路の整備			市民協働の状況	協働になじまない		

2 事業概要	事業概要	東部山麓道路建設促進期成同盟会及び片貝川長大橋建設促進協議会の事務局として会議の開催、関係機関への要望及び関係資料の作成。					
	対象	東部山麓道路、片貝川長大橋					
	手段 (活動指標)	①幹事会及び総会の開催、②関係機関への要望活動の実施、③関係資料の作成					
	意図 (成果指標)	東部山麓道路、片貝川長大橋が整備される。					

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 要望活動の実施回数	回	4	4	4	4	100.0%	4
	② 幹事会及び総会の開催回数	回	2	2	2	2	100.0%	2
	③							
	① 東部山麓道路の整備済工区箇所	箇所	5	5	5	5	100.0%	5
	② 整備済の片貝川長大橋数	本	0	0	1	1	100.0%	2
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円						
	支出合計 (A)	円	0	0	0	0		0
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円						
	収入合計	円	0	0	0	0		0
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	② 年間所要時間	時間	400	400	500	500	25.0%	500
	③ 人件費 (②×④ 4,200 円) (B)	円	1,680,000	1,680,000	2,100,000	2,100,000	25.0%	2,100,000
	総費用 (A+B)	円	1,680,000	1,680,000	2,100,000	2,100,000	25.0%	2,100,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○通常総会 第13回片貝川長大橋建設促進協議会 (平成25年7月8日) 第21回東部山麓道路建設促進同盟会総会 (平成25年7月12日)	
	○要望活動 国土交通省、北陸地方整備局、富山県知事へ要望 ○片貝清流橋開通式 (平成25年11月19日)	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
有効性	有効性		A	類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		A	コスト効率	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価 (課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の評価 (課題及び今後の方針)	広域的な幹線道路である東部山麓道路及び片貝川長大橋の整備促進は、快適な道路機能の強化につながる重要な取り組みであり、今後も他の関係自治体と共に要望活動を継続していく必要がある。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	国道8号バイパス対策事業		担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	4. 国道8号バイパス対策室費			係名	用地開発係		
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1089			
	事業期間	開始年度	昭和56年度	終了年度	当面継続			
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				予算科目	一般会計
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				款	土木費
施策名		16 快適な道路機能の強化				項	土木管理費	
	基本事業名	16-1 幹線道路の整備		市民協働の状況	協働になじまない			

2 事業概要	事業概要	朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会の事務局として、会議の開催、関係機関への要望及び関係資料の作成。 国土交通省が事業主体である入善黒部バイパス及び魚津滑川バイパス築造事業において、地元自治体としてバイパスの建設がスムーズに行われるように地元住民との連絡調整等を行う。
	対象	国道8号バイパス、地元住民
	手段 (活動指標)	幹事会及び総会の開催 関係機関への要望の実施
	意図 (成果指標)	国道8号魚津滑川バイパス、入善黒部バイパスの建設を促進させる。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 要望の実施回数	回	2	2	2	2	100.0%	2
	②							
	③							
	① 魚津滑川バイパス4車線供用延長	km	7.40	1.60	7.40	3.70	50.0%	7.4
	② 入善黒部バイパス暫定供用延長	km	16.1	8.8	16.1	16.1	100.0%	16.1
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	110,000	102,847	110,000	99,838	-2.9%	110,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	200,000	200,000	200,000	200,000	0.0%	200,000
	⑤ その他	円	130,000	100,080	125,000	102,280	2.2%	128,000
	支出合計 (A)	円	440,000	402,927	435,000	402,118	-0.2%	438,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	440,000	402,927	435,000	402,118	-0.2%	438,000
	収入合計	円	440,000	402,927	435,000	402,118	-0.2%	438,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	0.0%	1,200
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	5,040,000	5,040,000	5,040,000	5,040,000	0.0%	5,040,000
	総費用 (A+B)	円	5,480,000	5,442,927	5,475,000	5,442,118	0.0%	5,478,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	幹事会及び総会を開催した。 同盟会会員による要望活動、県議による要望活動を行った。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		A	目標達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		B	コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価 (課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後(課題及び今後の方針)の評価結果	魚津市を横断する主要幹線道路であるため、今後も引き続き国へ要望活動を続けていく。			評価結果		

ハード事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	市道黒谷東蔵線道路改良事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係	
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-23-1029	
	事業期間	開始年度	平成22年度	終了年度	平成26年度	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化				目	道路改良費
	基本事業名	16-1 幹線道路の整備			市民協働の状況	協働になじまない		

2 事業概要	事業概要	市道黒谷東蔵線は、歩道の無い県道三箇吉島線のバイパス機能を持つ路線で、片貝川河川堤防工事と併せて河川管理道路兼用の市道を整備し、効率的かつ安全な交通空間の確保を図る。
	対象	市道黒谷東蔵線の利用者
	手段 (活動指標)	県施工分の事業費負担、用地買収、地権者との交渉
	意図 (成果指標)	未改良区間を改良することで、県道三ヶ吉島線のバイパスルートとしての機能を持たせ高齢者や子供等、交通弱者の安全と通行の円滑化を図る。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	① 事業執行額 (累計)	円	123,878,845	121,134,696	164,396,845
成果指標	① 事業進捗率 (累計)	%	74	74	100	86	85.5%	100
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	① 需用費	円			
② 委託料	円							
③ 工事請負費	円							
④ 負担金補助及び交付金	円	40,200,000		38,835,000	40,518,000	19,392,000	-50.1%	21,126,000
⑤ その他	円	14,712,901		14,712,901		0	-100.0%	
	支出合計 (A)	円	54,912,901	53,547,901	40,518,000	19,392,000	-63.8%	21,126,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	30,202,095	29,440,450	22,284,900	10,665,600	-63.8%	11,619,300
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	22,230,000	21,670,000	16,350,000	7,800,000	-64.0%	8,550,000
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	2,480,806	2,437,451	1,883,100	926,400	-62.0%	956,700
	収入合計	円	54,912,901	53,547,901	40,518,000	19,392,000	-63.8%	21,126,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	400	400	360	360	-10.0%	360
	③ 人件費 (②×④ 4,200 円) (B)	円	1,680,000	1,680,000	1,512,000	1,512,000	-10.0%	1,512,000
	総費用 (A+B)	円	56,592,901	55,227,901	42,030,000	20,904,000	-62.1%	22,638,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>片貝川の河川管理用道路としては幅員4mであるが、7mで整備し、市が拡幅分の事業費を負担し、工事は県で行った。市の要望どおり実施されているか確認を行い、ガードレールについて、追加施工を要望した。</p>	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		A	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		A	コスト効率	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価 (課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後(課題及び方針)の評価結果	事業完了後、道路は市に引き渡されるが、堤防兼用道路であるため、管理協定を結ぶ必要がある。			評価結果		

ハード事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	市道吉島10号線道路改良事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成22年度	終了年度	平成27年度	予算科目	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち					款	8. 土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	2. 道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	4. 道路改良費
基本事業名		16-1 幹線道路の整備			市民協働の状況		協働になじまない		

2 事業概要	事業概要	市道吉島10号線は国道8号と平面交差され、交通量の増加が見込まれることから、道路を拡幅し、歩道を設置することにより、安全な交通空間、特に学童や高齢者等の歩行空間の確保を図る。	
	対象	市道吉島10号線	
	手段 (活動指標)	用地買収、物件補償、工事施工、地権者との交渉、補助金申請等事務	
	意図 (成果指標)	未改良区間を改良することで、渋滞を解消し、通行の円滑化を図る。 歩道を設置して歩行者が安心して通行できる環境にする。	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	① 事業執行額 (累計)	円	177,800,000	122,213,976	274,895,111
成果指標	① 事業進捗率 (累計)	%	48.2	33.1	63.0	54.7	86.8%	72.7
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	① 需用費	円	766,923	45,800	10,000
② 委託料	円	10,731,000		10,731,000	1,807,137	960,019	-91.1%	1,000,000
③ 工事請負費	円	23,171,400		23,171,400	65,978,387	35,542,500	53.4%	33,800,000
④ 負担金補助及び交付金	円	0		0	0	0		0
⑤ その他	円	122,000,000		65,139,676	84,885,611	43,436,491	-33.3%	31,780,000
	支出合計 (A)	円	156,669,323	99,087,876	152,681,135	79,939,010	-19.3%	66,580,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	85,746,320	54,499,981	87,650,373	45,707,323	-16.1%	21,670,000
	② 県支出金	円	0	0	0	0		0
	③ 地方債	円	63,140,000	40,130,000	56,435,000	28,360,000	-29.3%	15,957,000
	④ その他 (使用料、雑入等)	円	0	0	0	2,338,995		0
	⑤ 一般財源	円	7,783,003	4,457,895	8,595,762	3,532,692	-20.8%	1,773,000
	収入合計	円	156,669,323	99,087,876	152,681,135	79,939,010	-19.3%	39,400,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	6	6	5	5	-16.7%	5
	② 年間所要時間	時間	1,300	1,300	1,200	1,200	-7.7%	1,200
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	5,460,000	5,460,000	5,040,000	5,040,000	-7.7%	5,040,000
	総費用 (A+B)	円	162,129,323	104,547,876	157,721,135	84,979,010	-18.7%	71,620,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	・道路改良工事 2件、用地買収 4件、物件補償 7件、業務委託 2件	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
有効性	有効性		A	類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		A	コスト効率	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
1次評価 (課長総括)			A	負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後(課題及び方針)の評価結果	幹線道路は重要な社会基盤であり、観光の振興や総合交通体系の整備を推進する上でも遅滞なく事業を進める必要がある。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	都市計画道路見直し事務			担当	課名	都市計画課	
	予算事業名	なし			係	係名	計画公園係	
	事業区分	自治事務			電	電話番号	0765-23-1030	
	事業期間	開始年度	平成17年度	終了年度	当面継続	予	算	なし
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち			算	科	目
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					
施策名		16 快適な道路機能の強化						
基本事業名	16-1 幹線道路の整備			市民協働の状況	協働になじまない			

2 事業概要	事業概要	都市計画道路は将来の都市像を誘導し、円滑な都市交通と良好な都市環境を形成するために整備される都市施設のひとつである。その整備を効率的に進めるため、都市計画道路の計画区域内での建築行為等の土地利用には、都市計画法により一定の制限が課せられている。魚津市内の都市計画道路は、そのほとんどが計画の決定から40年以上経過しており、全体の約5%が長期未着手路線となっていることから、その見直し（計画路線廃止や代替路線振替えなど）を検討しなければならない。					
	対象	未着手の都市計画道路					
	手段（活動指標）	<ul style="list-style-type: none"> 未着手計画道路のこれまでの経過等の確認 都市計画道路見直しの考え方の整理 					
意図（成果指標）	<ul style="list-style-type: none"> 不要な計画道路が廃止される。 着手が困難な計画道路の代替路線が位置づけられる。 						

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度		26年度	
			計画	実績	計画	実績		達成率
活動指標	①「廃止」の方針決定道路延長	m	0	0	0	0	0	
	②「代替路線への振替」の方針決定道路延長	m	0	0	0	0	0	
	③							
	①「着手済」計画道路延長/全計画道路延長	%	95.10	95.10	95.10	95.10	100.0%	95.10
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	
支出内訳	①需用費	円						
	②委託料	円						
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円						
	支出合計（A）	円	0	0	0	0		0
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤一般財源	円						
収入合計	円	0	0	0	0		0	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	640	640	740	740	15.6%	740
	③人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	2,688,000	2,688,000	3,108,000	3,108,000	15.6%	3,108,000
総費用（A+B）	円	2,688,000	2,688,000	3,108,000	3,108,000	15.6%	3,108,000	

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<ul style="list-style-type: none"> 未着手計画道路のこれまでの経過等の確認 都市計画道路見直しの考え方の整理 	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目標達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
有効性	有効性		A	類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		B	コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
1次評価（課長総括）	1次評価		A	負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				計画どおり事業を実施することが適当	2次評価		不要
後（課題及び今後の方針）	評価結果	平成17年度に県で都市計画道路見直し基本的指針が打ち出され、本市においても見直し素案等の検討をしているものの、まずは関係する住民の意向調査をしなければならない。			評価結果		